

FTC の McSweeny 委員、標準設定プロセスに関わる問題で執行当局が特許保有者に注目しないのは誤りとする声明を発表

2018 年 4 月 5 日
JETRO NY 知的財産部
柳澤、笠原

連邦取引委員会 (FTC) の Terrell McSweeny 委員は 3 月 21 日、「標準設定プロセスに関わる問題で執行当局が特許保有者に注目しないのは誤りである」とする声明¹を発表し、司法省反トラスト局の Makan Delrahim 局長が昨年 11 月に行った標準必須特許 (SEP) に関する演説で示した見解に対して懸念を示した。

司法省反トラスト局の Delrahim 局長は、昨年 11 月に南カリフォルニア大学で行った演説²で、近年の競争当局は「ホールドアップ問題」に過度に注目していたが、標準必須特許の利用者がライセンス料支払いを拒む「ホールドアウト問題」の方がより深刻な問題であるとの見解を示していた。

これに対して McSweeny 委員は声明の中で、「反トラスト当局が過去 15 年間の学術研究と超党派で行われた調査とから得た知識を捨てて、過度な抑止への漠然とした懸念に基づきホールドアップ問題解決に向けた取組を疑問視することは残念である」などとしている。

(以上)

¹ McSweeny 委員声明

https://www.ftc.gov/system/files/documents/public_statements/1350033/mcsweeny_-_the_reality_of_patent_hold-up_3-21-18.pdf

² Delrahim 局長演説

<https://www.justice.gov/opa/speech/assistant-attorney-general-makan-delrahim-delivers-remarks-usc-gould-school-laws-center>